

インターンシップ結団式 (2016/07/25 進路指導課、2・3学年)

7月25日(月)1限目に第1体育館にてインターンシップ結団式を行いました。2年生全員と3年生の就職希望者の計78名が26日(火)から3日間にわたって地元43事業所に出かけてインターンシップを行います。



校長先生から「感謝の気持ちを忘れず頑張ってください。笑顔で挨拶を心がけ、返事は「はい」と相手の目を見て元気よく。集中して聴き、わからなければ質問することを心がけること。学校では学べないことをたくさん体験してください。」との激励の言葉があり、生徒を代表し2年生の嶋陸斗さんから「宝達高校生として挨拶やマナーを意識して行動し、今後の進路選択に活かせるよう多くのことを学んできた

い」と抱負の言葉がありました。

2年生にとっては地元の職場の現状を知り、望ましい勤労感や職業観を持つ契機となり、3年生にとっては応募前職場体験ともいえます。実りある3日間にしてほしいと思います。

インターンシップ (2016/07/26~28 進路指導課、2・3学年)

7月26日(火)から3日間にわたって行われたインターンシップが終了し、29日(金)に参加した生徒達が登校して、活動日誌を完成させました。またこの活動を通して学んだことをレポートにまとめ、それをお礼状とともに各事業所へ届ける準備をしました。

生徒の感想 (一部抜粋)

・ダンボールについての汚れを落とす作業を3日間行いました。同じ作業の連続できつかったけれども、この経験から継続することの大切さを学びました。挨拶、返事の面などで自分には足りないことが多いと感じました。今回のインターンシップを踏まえて、こ



れからの学校生活の中で、社会に出て通用するような挨拶や返事を身につけたいと思いました。

・一人で仕事をしているのではなくラインというたくさんの人で仕事をしているので、安全が第一であることが分かりました。そのため失敗した時は必ず報告する事が大事であることが分かりました。また、教育担当の方から、失敗は次に同じ誤りを繰り返さないための教訓となることを教えていただきました。そして、仕事を始める前にイメージトレーニングをすることで、失敗が少なくなることも、実際に仕事をしながら学びました。



・保育園での職場体験は、子どもの無邪気さや純粋さ素直さに触れることが多かった3日間でした。先生方からは、子どもと話をする時にはちゃんと腰を下ろして話をすることや、喧嘩の仲裁もそれぞれの子どもの立場に立ってア



ドヴァイスすることの大切さを教えていただきました。私は子どもたちに「お姉さん先生」と呼んでもらえてとても嬉しかったです。いつか本当に先生と呼ばれるように頑張りたいと思います。